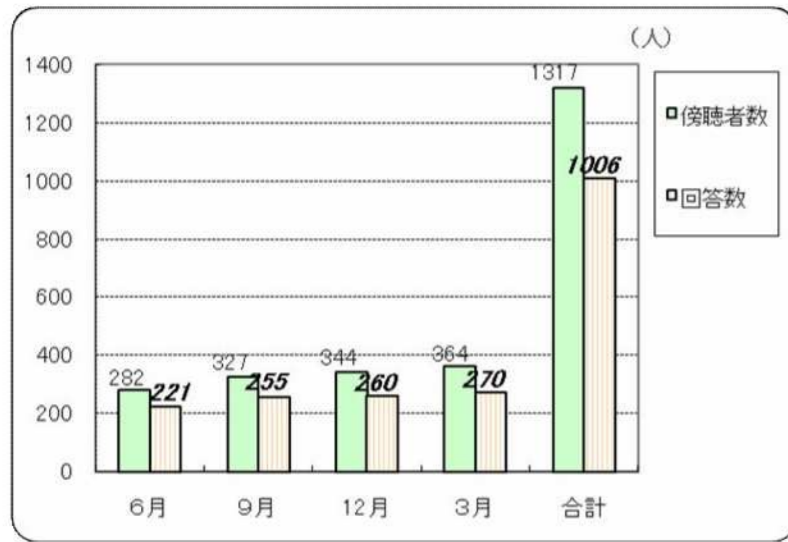


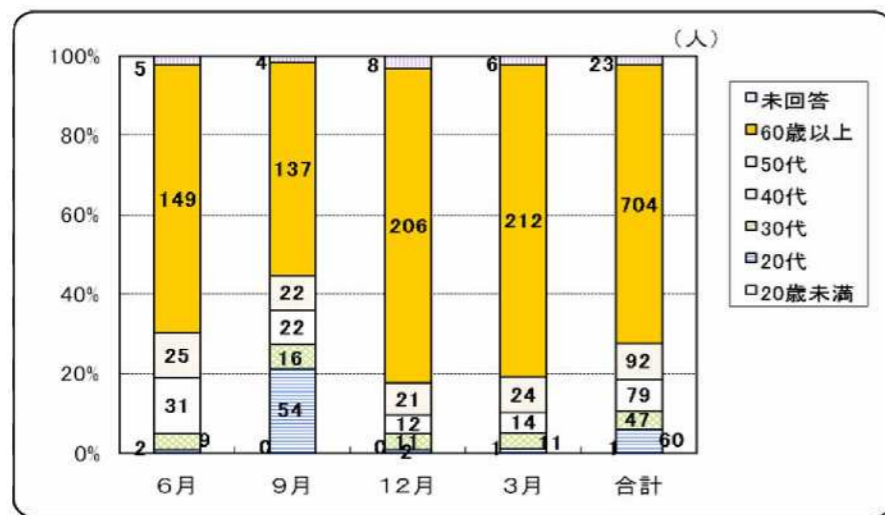
# 【平成20年6月から平成21年3月までの定例会に関する傍聴アンケートの結果について】

## 1 傍聴者数とアンケート件数



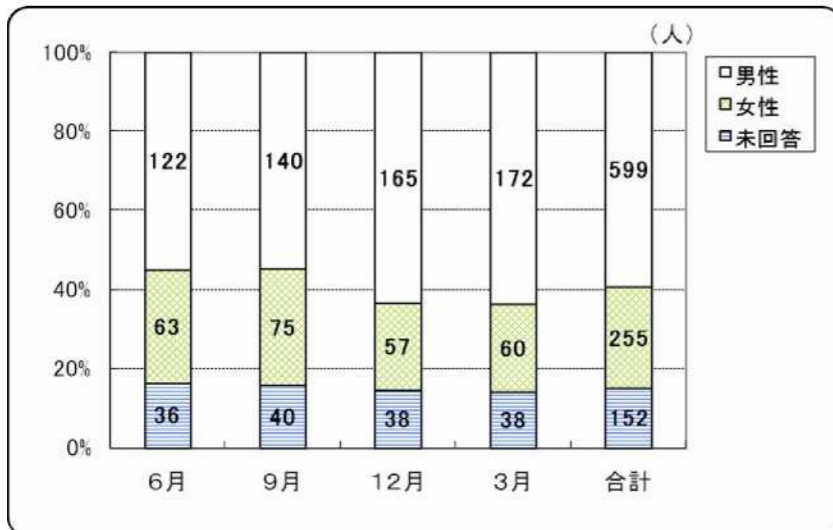
※アンケート平均回収率→約76%

## 2 アンケート回答者の年齢



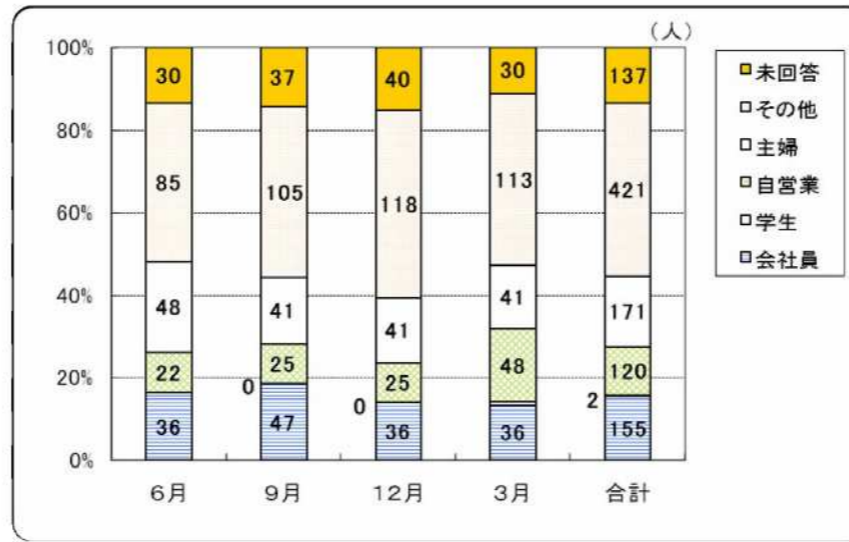
※回答者の約70%が60歳以上

## 3 アンケート回答者の性別



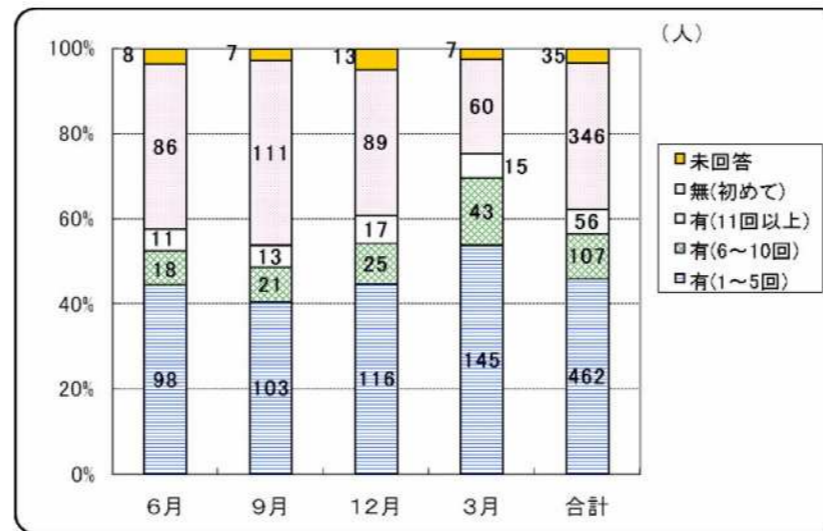
※男性割合→約70% 女性割合→約30% (未回答除く)

## 4 アンケート回答者の職業



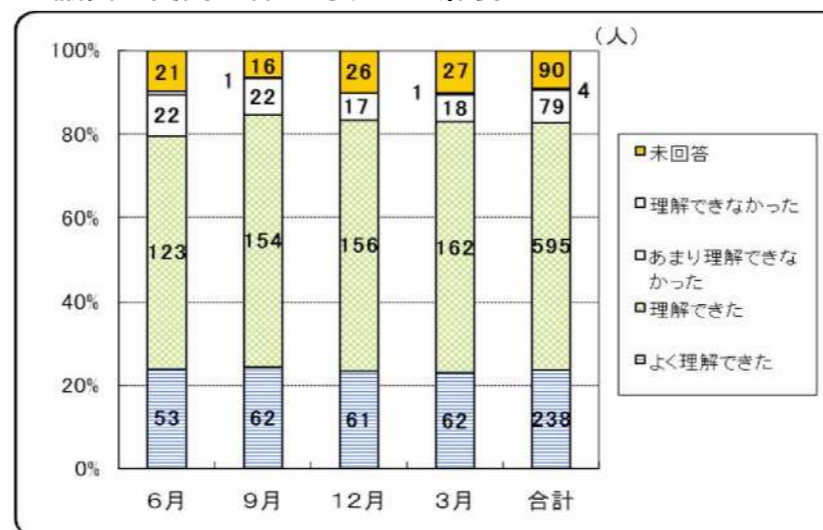
※「その他」の内容⇒農業、区長、無職等

## 5 アンケート回答者の傍聴回数



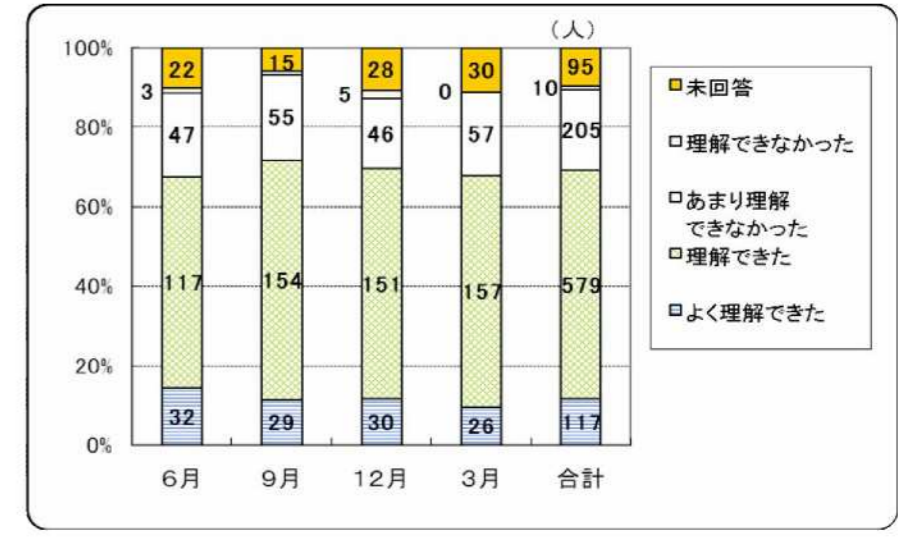
※傍聴回数2回目以上の割合約62%

## 6 議員の質問内容に対する理解度



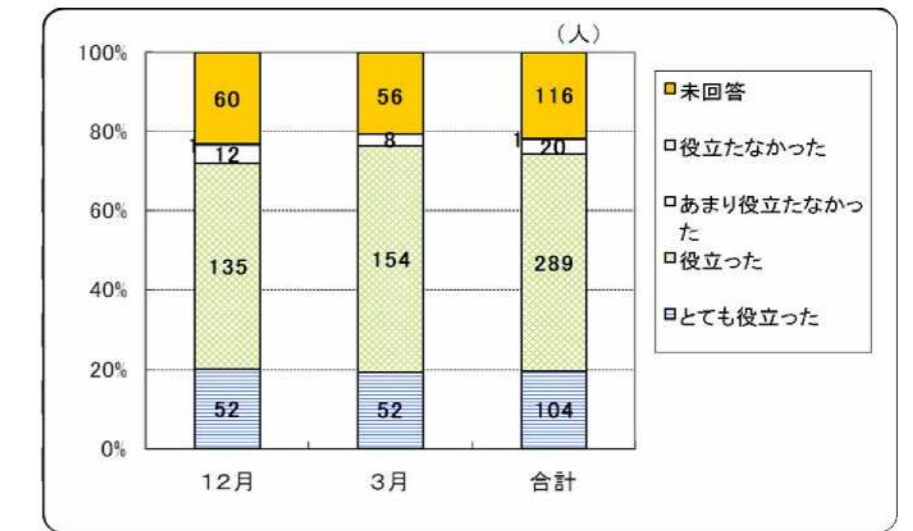
※理解が得られた合計割合→約83%

## 7 市の答弁内容に対する理解度



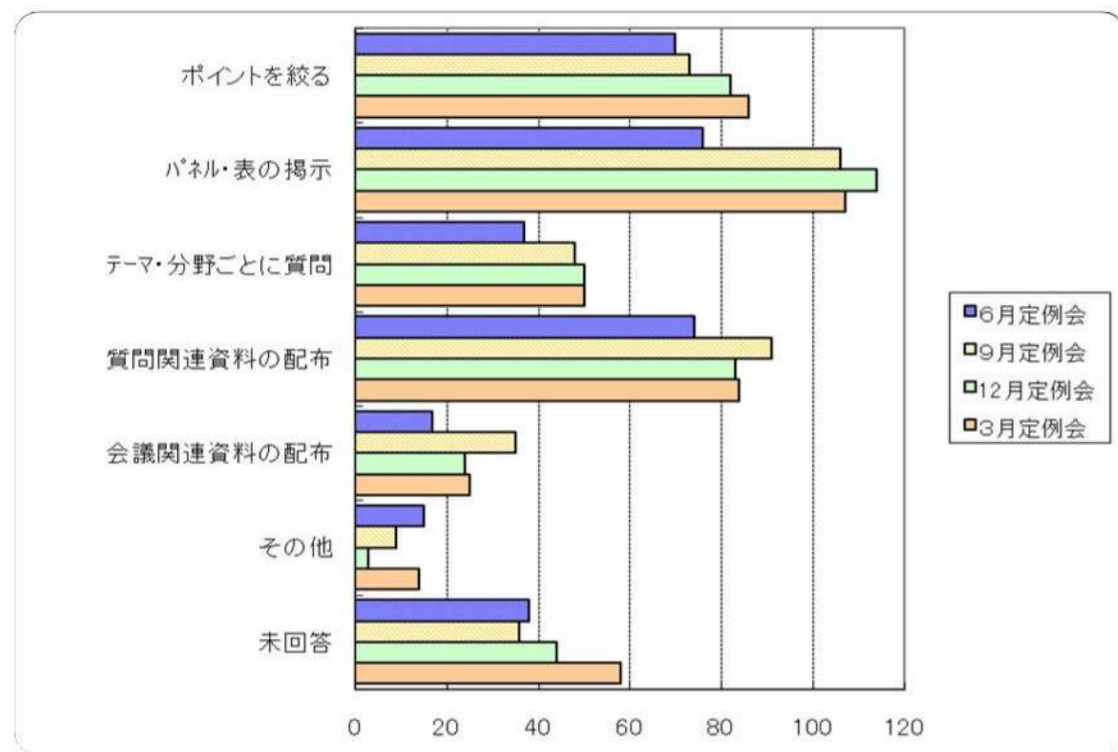
※理解が得られた合計割合→約69%

## 8 一般質問一覧表の満足度 (12月定例会から小項目まで記載)



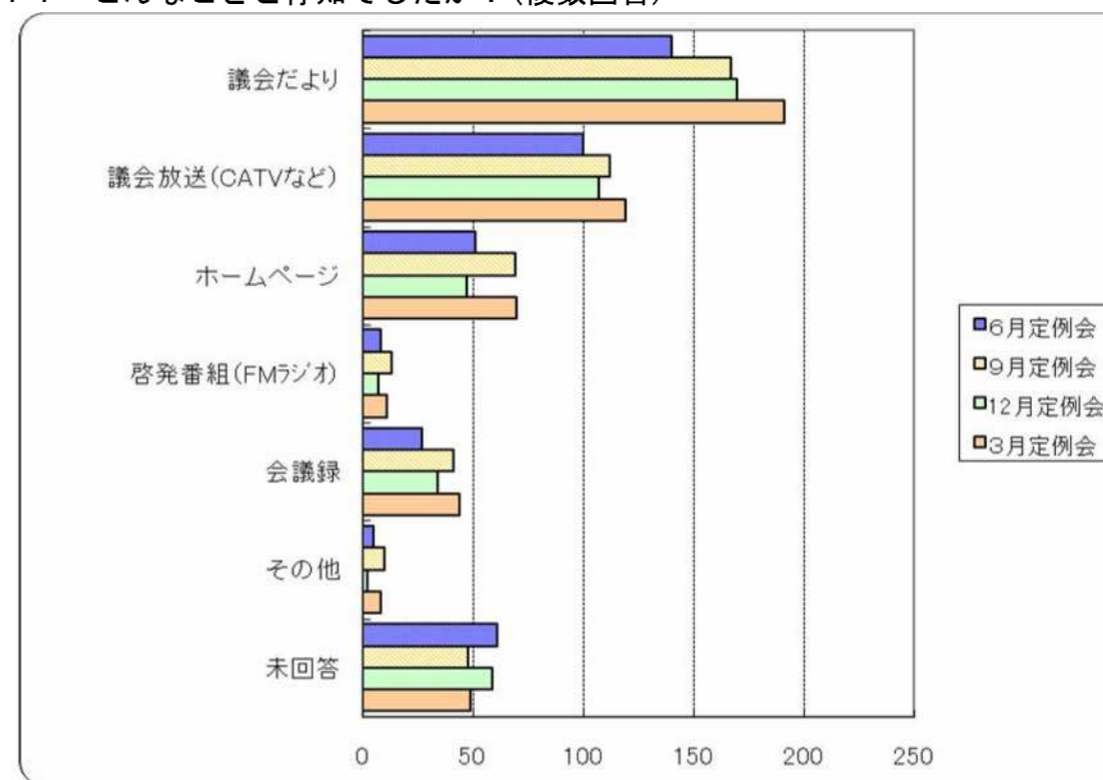
※役に立っていると回答した割合→約74%

9 会議を分かりやすくするためには（複数回答）



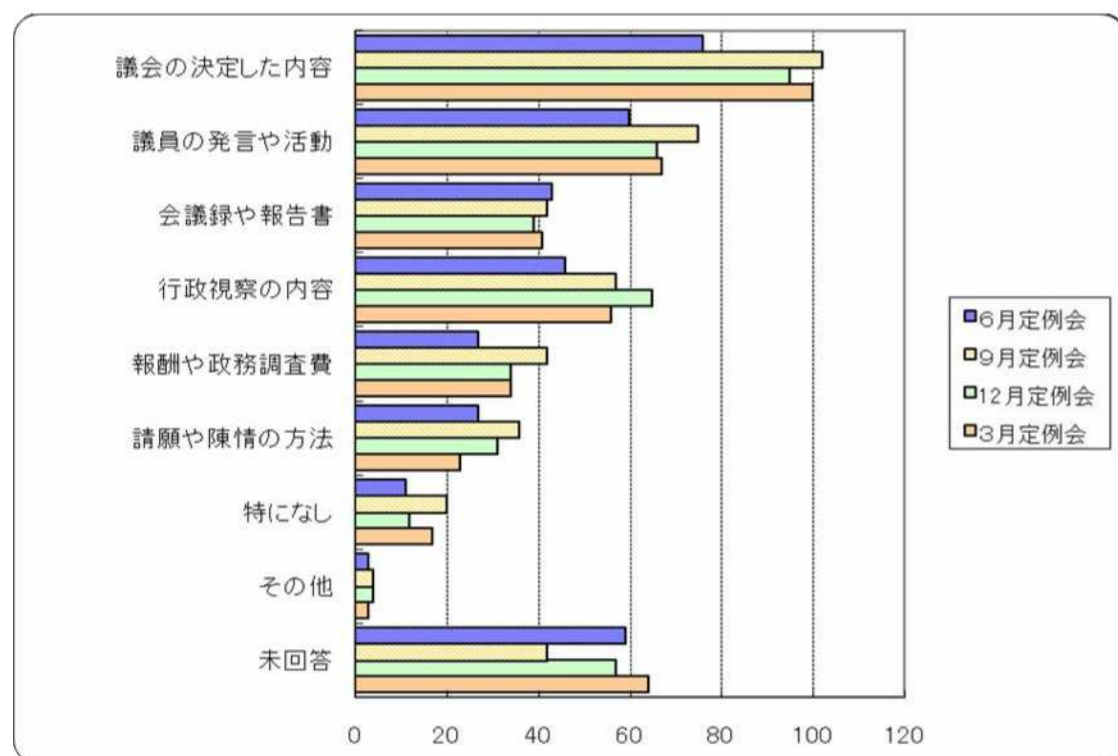
※回答多数順⇒①パネル・表の掲示 ②質問関連資料の配布 ③ポイントを絞る

11 こんなことご存知でしたか？（複数回答）



※回答多数順⇒①議会だより ②議会放送 ③会議録

10 議会について知りたい情報は？（複数回答）



※回答多数順⇒①議会の決定した内容 ②議員の発言や活動 ③行政視察の内容

その他自由記入欄の内容について（概要）

【質問の内容に対する意見】

- ・身近な問題を取り上げる
- ・根幹となるテーマを決め、掘り下げた質問を希望する
- ・何に問題意識を持っているか（具体性が乏しい）。なぜ、多くの問題の中からこの質問かをわかるようにしてほしい。
- ・質問内容を充実して欲しい。何をどうするのかはっきりした質問をするように。
- ・質問が多岐にわたっており、理解しづらい。重点的に絞ったほうが有益と思われる。

【質問及び答弁方法に対する意見】

- ・できるだけ平易な言葉（専門用語は説明が必要）で、ゆっくり話をしてほしい
- ・答弁は具体例を挙げながら、わかり易く（要点をつかんで、具体的なスケジュール、数値など）実態を表現すべき
- ・原稿を読み上げるだけでなく（迫力のある質疑になっていない、緊張感がない）、自分の言葉で語ったほうが良い
- ・納得ができるようなやりとりがあってもいいのではないかと
- ・答弁に対する考え方の議論がない（再質問がない）
- ・もっと突っ込んだ質問が欲しい。市行政のチェック機能としての質問も欲しい
- ・短い質問で簡明なる答弁が必要と思われる。時間短縮で経費の節減にもつながるのではないかと。
- ・議員の発言時間を会派別に定めるのではなく、十分な討論が出来るように検討してほしい。

【質問及び答弁の工夫・改善に対する意見】

- ・ひまわりネットワークにおいて専門用語の解説をテロップで流して欲しい
- ・質問に対する答弁を採点するシステムを取り入れたら面白いと思う。
- ・質問者以外の議員もテーマによっては質問してよいのでは。質疑応答の機会も多くなり他の議員のためにも良い。
- ・パネルやプロジェクター・パワーポイントなどビジュアルな機器を有効活用すべき。
- ・一般質問の内容をわかり易く事前に市民に知らせる工夫（交流館など）をして欲しい。
- ・質問、答弁の内容を簡潔にまとめた資料が会議後、公開されたい。